

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1 五類定点疾患週報情報

平成26年第50週(12月8日～12月14日)

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	247	2.15	6.95	↑	11	ヘルパンギーナ	8	0.11	0.02	
2	RSウイルス感染症	174	2.42	1.64	→	12	流行性耳下腺炎	56	0.78	0.72	↗
3	咽頭結膜熱	31	0.43	0.91	→	13	急性出血性結膜炎	1	0.05	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	2.92	1.72	→	14	流行性角結膜炎	16	0.84	0.94	→
5	感染性胃腸炎	979	13.60	13.75	↗	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	105	1.46	2.24	→	16	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.04	
7	手足口病	92	1.28	0.31	↗	17	マイコプラズマ肺炎	3	0.14	0.31	
8	伝染性紅斑	2	0.03	0.14		18	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	36	0.50	0.46	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ※4	4	0.19	-	
10	百日咳	2	0.03	0.08							

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり)
 ※2 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年第42週から報告が始まりました。

発生記号(前週と比較)

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1～12	13,14	15～19
定点数	43	72	19	21

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
感染性胃腸炎	20	12	-	警報発令中 (H26.12.11 発令)	10.00	29.33	6.78	6.75	13.29	15.50	15.64
手足口病	5	2	-	警報発令 (H26.12.18 発令)	0.40	5.17	0.22	0.25	1.50	1.88	0.27
流行性耳下腺炎	6	2	3	注意報発令中 (H26.11.20 発令)	0.50	0.33	0.22	2.00	1.33	0.50	0.27
水痘	7	4	4	注意報発令中 (H26.12.04 発令)	0.70	3.00	0.56	6.25	0.71	1.50	1.91

注)原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

- 手足口病の報告患者数が、西部東保健所管内で警報開始基準値(定点当たり5)を上回りました。手足口病の流行は今後拡大する可能性があることから、平成26年12月18日、県内に「手足口病警報」を発令しました。
- インフルエンザの報告患者数が県全体で定点当たり2.15となり、流行開始の目安としている1.0を上回ったことから、県内が流行シーズンに入ったと考えられます。昨シーズンよりも3週早い流行の始まりとなります。

【急増減疾患(前週比2倍以上増) ● 急増疾患 インフルエンザ(100件 → 247件) ● 急減疾患 なし】

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9				2	3	2	2
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2	1						1
四類	2	つつが虫病	2					2		
五類全数	3	ジアルジア症	1							1
		梅毒	1				1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	1	1						

注) 西部…大竹市、廿日市市、安芸高田市、安芸郡、山県郡、江田島市
 東部…三原市、尾道市、世羅郡、府中市、神石郡

西部東…竹原市、東広島市、豊田郡
 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>